

1 審議会等の名称	令和元年度 第1回三重県観光審議会
2 開催年月日	令和元年5月24日（金）
3 委員	【会長】埼玉大学 教授 石阪督規 ほか6名出席 計7名
4 諮問事項	新三重県観光振興基本計画に向けた意見交換
5 調査審議結果	<p>新三重県観光振興基本計画策定に向け、①持続可能な観光の推進に向けて、②きらりと光る観光戦略の策定に向けて をテーマに審議いただきました。</p> <p>【主な意見】</p> <p>① 持続可能な観光の推進に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・右肩上がりの成長ではなくとも、観光が産業として持続できるような状態を保つ戦略が重要。</li> <li>・持続可能な観光を推進するためには、トイレの洋式化などの小さなメンテナンスも重要。事業承継などの次世代への取り組みはまさに持続可能な観光にとってよいもの。</li> <li>・価値観は変わっていくものであるため、10年先を見据えたときに通用するコンセプトであるべき。また、素晴らしい自然景観や海産物などの資源は有限であり、10年後も提供できるものなのかなど、持続可能性も踏まえて計画を策定していくべき。</li> <li>・民間の活力を呼び起こすために、富裕層を狙って売上を上げることで賃金を上げていくことや、テクノロジーの活用、人材育成など、三重県にとっての持続可能な産業の構築をどのように行うかがわかる形で進めていくとよい。</li> </ul> <p>② きらりと光る観光戦略の策定に向けて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三重県の強みを旅行者の目線で見直す必要がある。</li> <li>・食や文化、神宮など三重県ならではの特性を生かすべき。</li> <li>・満足度を上げることは、リピート、情報拡散両方につながるため、ソーシャルリスニングの手法を用いて旅行者の声を把握する手法を取り入れた方がよい。</li> </ul>